
言語研究センター共同研究

HSK聴解問題を題材とする 中国語自動学習システムの構築

加藤 宏 紀

多くの外国語同様、日本人が中国語を学ぶときの最大の課題は聴き取り能力がなかなか向上しないことである。こうした課題を克服するための一手段として、本研究グループはHSK（漢語水平考試）の聴解問題を題材とした自動学習システムを構築している。HSKの問題を題材としたのは、試

験対策という実用面だけでなく、音声、語彙、文法知識などがきわめて標準的であり、かつ出題のポイントが比較的まとまっているため、学習者の聴き取り能力を向上させるのに非常に適しているからである。

現段階では、試験的にいくつかの聴解問題を作

成し、その音声および選択肢を電子データ化し、それをもとにパソコン上の操作で「出題→解答→正解確認」のプロセスを行うためのプログラムを作成した。

今後は問題数を増やすと同時に、正解を導くた

めに必要な音声、語彙、文法、その他関連する知識や聴き取りのポイントを含めた解説文を作成し、利用者が自律的に学び、聴き取り能力を向上させるためのシステムの充実を図っていく。
